





働き続けることのできる社会へ廻労死をゼロにし、健康で充実し





過労死等防止対策推進シンポジウム



近年、働き過ぎやパワーハラスメント等の労働問題によって多くの方の尊い命が失われ、

また心身の健康が損なわれ深刻な社会問題となっています。

本シンポジウムでは有識者や過労死で亡くなられた方のご遺族等にもご登壇をいただき

過労死等の現状や課題、防止対策について考えます。

毎年11月は「過労死等防止啓発月間」です。

参加 無料

事前申辺

2025.11.25(火)

14:00~16:30 (受付13:00~)

会 場

ボルファートとやま 琥珀の間

(富山県富山市奥田新町8-1)

◎お申込み・特設ホームページはこちら

過労死等防止対策推進シンポジウム

Q

主催:厚生労働省

後援:富山県、富山県弁護士会

協力:過労死等防止対策推進全国センター、全国過労死を考える家族の会、過労死弁護団全国連絡会議

二次元バーコードを読み込んで下さい。

富山会場

プログラム

開会挨拶

富山労働局より現状の報告

[取組事例紹介]

安達建設株式会社

過労死を考える家族の会 体験談

[基調講演]

「レスタビリティ(休む力)を高めるために: 疲れたら休む、休める、休ませる」

閉会挨拶

■会場のご案内

ボルファートとやま 琥珀の間

(富山県富山市奥田新町8-1)

・JR富山駅北口より徒歩5分・国道8号線中島インターより車で10分

■ 参加申し込みについて

- ▶会場の都合上、事前申し込みをお願いします。
- ▶申し込みはWebまたはFAXでお願いします。
- ▶受付番号を発行いたします。当日会場受付にて受付番号をお知らせください。
- ▶定員になり次第締め切りとさせていただきますのでご了承ください。
- ▶定員超過の場合は、電話またはメールでご連絡いたします。
- ▶連絡先のTELかE-mailのどちらかは必ずご記入ください。
- ▶参加 (証明) 書の発行はいたしておりません。予めご了承ください。

久保 智英氏

独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等防止調査研究センター 上席研究員

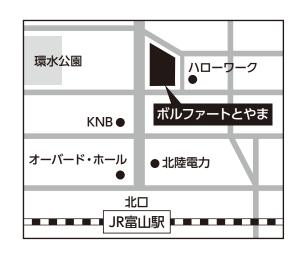


2003年 3月 中央大学文学研究科心理学専攻にて修士(心理学)、 2007年10月 名古屋市立大学医学研究科にて博士(医学)を取得。 2008年 4月 (独)労働安全衛生総合研究所に任期付研究員として着任。 2017年4月より上席研究員。

2011年2月 フィンランド労働衛生研究所にて客員研究員。

専門は産業保健心理学、睡眠衛生学、労働科学。

現在は勤務間インターバル、つながらない権利と疲労回復の関係や、 自主対応型の疲労対策としての職場の疲労カウンセリングの研究に 従事。



◎Webからのお申し込みはこちら

過労死等防止対策推進シンポジウム 検索

https://www.mhlw.go.jp/karoshi-symposium/



- ●以下の参加申込書に必要事項を記載の上、FAXをお願いいたします。 FAX番号 03-6264-6445
- ●下記の「個人情報の取扱いについて」に同意の上、ご記入ください。 → □ 同意しました。

過労死等防止対策推進シンポジウム[参加申込書]			
 ●次の該当する□に√をお願いいたします。 □ 経営者 □ 会社員 □ 公務員 □ 団体職員 □ 教職員 □ 医療関係者 □ 弁護士 □ 社会保険労務士 □ パート・アルバイト □ 学生 □ 過労死等の当事者・家族 □ その他 [] 			
お名前 5名以上のお申込みは、 別紙(様式自由)にて FAXしてください。	ふりがな	ふりがな	
連絡先	●TEL: ●FAX: ●E-mail:		
企業•団体名			

「個人情報の取扱いについて」・ご記入いただいた事項は、過労死等防止対策推進シンポジウムの申込受付業務を目的として使用します。・他の目的ではご本人の同意なく第三者に提供をいたしません。・委託運営株式会社プロセスユニークの「個人情報保護方針 (https://www.p-unique.co.jp/hp/privacy.html)」に従い適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。